

平成30年度有機農業参入相談活動アンケート調査報告書
 (平成31年3月 NPO法人有機農業参入促進協議会) 14～22ページ

12) 参入に繋がった事例

新規に参入した 23 事例、法人に就職した 1 事例、慣行栽培から転換参入した 5 事例、計 29 事例を紹介する。

新規参入に繋がった事例では、ほとんどの事例で就農前に農家、法人などで研修を受けていた。

転換参入に繋がった事例の参入のきっかけには、有機農業者とのつながり（研修を含む）や相談会への参加、有機 JAS 認証の取得があった。

新規就農事例 1

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
東北	男	30歳	有	1人	会社員	不明	野菜作	50a	50a

研修内容など 有機農業者のもとで野菜について研修。

相談のきっかけ 不明

参入に繋がった理由 不明

参入後の状況 不明

新規就農事例 2

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
関東	女	42歳	有	無	その他	不明	不明	不明	不明

研修内容など 不明

相談のきっかけ 新・農業人フェアにて相談。

参入に繋がった理由 不明

参入後の状況 不明

新規就農事例 3

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
関東	男	32歳	有	2人	その他	不明	野菜作	不明	不明

研修内容など 研修施設で研修。

相談のきっかけ 新・農業人フェアにて相談。

参入に繋がった理由 研修。

参入後の状況 不明

新規就農事例 4

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
関東	男	39歳	有	2人	団体職員	400万円	野菜作	80a	80a

研修内容など 当法人で1年間の研修、野菜多品目+小麦+大豆。農業次世代人材投資資金（準備型）を利用。

相談のきっかけ 知り合いを通じて、研修を希望して来た。

参入に繋がった理由 当人の前職が生協スタッフで、有機農家と付き合いがあり、魅力を感じて就農を志した。知己の農家を通じて好条件の農地を確保した上で研修に入った。

参入後の状況 当法人研修農場の卒塾就農者で共同販売グループを組んでいる。技術課題・資材などの情報共有、作業労働の貸し借りなど協同の仕組みがあり、就農直後の支援を特に意識している。

新規就農事例 5

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
関東	男	37歳	有	人	農業従事者	不明	野菜作	39a	39a

研修内容など 有機農家で露地野菜の研修、農業次世代人材投資資金（準備型）利用。

相談のきっかけ 県就農相談窓口、市町村就農相談窓口。

参入に繋がった理由 農地の確保等、関係機関の連携がうまくいったため。

参入後の状況 普及指導員による指導。

新規就農事例 6

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
関東	男	30歳	無	無	会社員	300万円	畑作、野菜作	100a	100a

研修内容など 当法人にて、水稻、果菜類（トマト、ナス、カボチャ、キュウリ等）、葉菜類（レタス等）、根菜類（ニンジン、カブ）などを研修。公的支援なし。

相談のきっかけ 当法人ウェブサイト。

参入に繋がった理由 当法人研修修了生の農場での体験により就農を志し当法人で研修。そこで技術や人脈を形成し農地や住宅を紹介してもらい就農に至る。資金はサラリーマン時代の貯蓄。

参入後の状況 研修に携わった当法人職員が農地の状況を一緒に把握し、土壌改良等アドバイスをし、栽培技術等についてもメール等で相談。

新規就農事例 7

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
東海	男	33歳	有	無	会社員	無	野菜作	不明	不明

研修内容など 県の認定研修機関で1年間研修を受けた。自然農法の露地野菜栽培を習得。農業次世代人材投資資金（準備型）の交付を受けた。

相談のきっかけ 家庭菜園用の区画を借りて野菜栽培をしているときに、農業次世代人材投資資金（準備型）を受給しながら研修したのち就農した先輩農業者と出会い、話を聞く中で研修先を紹介された。また支援制度についても教えてもらい、指導機関へ相談に来た。

参入に繋がった理由 技術については認定研修機関での研修で学ぶ。また研修先農家の口利きや、研修中に空き農地の情報を自分で集め、農地を借りることができた。住宅については、研修中はアパートであったが、農機具や資材を置く場所がほしく、地主の紹介で空き家を借りることができ、就農前に引っ越しをした。古いが、家賃も安く、広くなったため、作業場としても使用できている。積極的に、地域の人たちに声をかけ、農地や住宅を探しており、積極性と周囲の人たちに溶け込む努力を惜しまなかったことが、就農につながった。

参入後の状況 認定研修機関の農家を中心に、農地を借りた地主や周辺農家など、多くの方たちと積極的に交流を続けており、周囲からの協力が得られている。販路のひとつに、研修先農家や先に就農した農家と一緒に開催しているマルシェや、研修先農家が紹介してくれたこだわりスーパーのインショップ販売等がある。

新規就農事例 8

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
東海	男	30歳	有	無	会社員	300万円	野菜作	80a	80a

研修内容など 有機栽培農家で、有機栽培管理技術および販売全般について研修。

相談のきっかけ 新・農業人フェア、ウェブサイト。

参入に繋がった理由 優良農家による栽培技術の習得、販路の確保、優良農地の確保。

参入後の状況 地域の優良農家・有機農産物生産販売グループ。

新規就農事例 9

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
近畿	男	30歳	無	1人	その他	50万円	稲作	90a	90a

研修内容など 市の研修制度を利用して、受け入れ農園にて研修。

相談のきっかけ 農園の新聞掲載を見て。

参入に繋がった理由 農園と関係があつてことで、新規就農が許可されたことと、農地中間管理機構によって農地が取得（借りる）することができたこと。

参入後の状況 農機具の貸し出し、技術協力、精神面のサポート。

新規就農事例 10

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
近畿	男	31歳	無	不明	パート・アルバイト	300万円	野菜作	40a	40a

研修内容など 当農園、葉物。
 相談のきっかけ 当農園研修生。
 参入に繋がった理由 研修。
 参入後の状況 農地。当農園グループでの販路の確保。行政への支援。

新規就農事例 11

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
近畿	男	31歳	有	1人	会社員	300万円	野菜作	51a	51a

研修内容など 有機栽培実践農家で有機野菜栽培について2年間研修。県就農実践コースで1年間研修。
 相談のきっかけ 独立就農に向けて、訪問相談。
 参入に繋がった理由 就農前の実践研修により技術を身につけた。就農後は普及センター主催の就農セミナーに参加し、技術習得や仲間作りが図られた。
 参入後の状況 市の新規就農者対象の親方農家紹介制度を活用。

新規就農事例 12

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
近畿	男	33歳	無	無	その他	400万円	野菜作	65a	65a

研修内容など 自分で研修先を探し、農業次世代人材投資資金（準備型）を活用して、有機農家（有機 JAS 認証取得）で野菜生産について研修。
 相談のきっかけ 自宅から通える地域で農地を探して、市役所、JA を訪問し、そこで普及センターを紹介された。
 参入に繋がった理由 自分で研修先を探すなど就農意欲が高かった。ヘリ防除の影響を受けない農地が確保できた。有機農業ではあるが、生産を重視した研修を受けており、販売先に関する不安や技術的な不安が少なかった。
 参入後の状況 倉庫を貸してもらするなど地主とよい関係を築いている。自分の販売先もあるが、農協組合員となって農協直売所にも出荷しており、JA も支援している。農業次世代人材投資資金（経営開始型）を受給しており、市、普及センターが支援している。技術はあるが、研修地との環境（気候、土壌の肥沃度、今までの栽培歴ほか）が違うので、病虫害の発生や生育速度の違いに苦労している。移住を考えているが、農地の近くに移住先が見つからない。

新規就農事例 13

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
近畿	男	30歳	有	不明	パート・アルバイト	不明	稲作、野菜作	50a	不明

研修内容など 不明

相談のきっかけ 不明

参入に繋がった理由 不明

参入後の状況 不明

新規就農事例 14

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
近畿	男	33歳	有	3人	パート・アルバイト	不明	稲作、野菜作、畑作	105a	105a

研修内容など 知り合いの有機栽培を手伝いながら技術習得。

相談のきっかけ 関係機関就農相談。

参入に繋がった理由 両親は非農家であったが、母方の祖父の農地を利用できた。

参入後の状況 有機農業だけでは生活が成り立たず、地域農業でのアルバイトや集落での共有機械等を活用しながら経営を安定させている。

新規就農事例 15

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
近畿	男	39歳	有	1人	会社員	300万円	野菜作	89.2a	89.2a

研修内容など 親元で研修。品目は、ホウレンソウ、シュンギク、ミズナ、コマツナ、クウシンサイ、カブ、ミニトマト。公的支援を受給。

相談のきっかけ 普及センターへの相談。

参入に繋がった理由 親の経営基盤があった。市や国の支援施策を受けることができた。

参入後の状況 農業経営は移譲し、親からは栽培技術に関する助言を受けている。

新規就農事例 16

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
近畿	男	39歳	有	2人	会社員	35万円	野菜作	36a	不明

研修内容など 土地利用型農家、水稻・大豆（2年4か月）。地元市・JA・県共催の農業スクール、農業基礎知識（6か月）。他県有機農業栽培講習会、有機農業基礎知識（5か月）。

相談のきっかけ 直接連絡あり。
 参入に繋がった理由 配偶者の出身地であること、特産品があること、有機農業について相談できる先輩農業者がいること。
 参入後の状況 青年等就農計画の作成支援。

新規就農事例 17

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
近畿	男	38歳	無	無	会社員	不明	野菜作	77a	77a

研修内容など なし。
 相談のきっかけ 不明
 参入に繋がった理由 不明
 参入後の状況 不明

新規就農事例 18

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
中国	男	47歳	有	不明	会社員	不明	野菜作	24a	24a

研修内容など 有機野菜の生産組合において研修を実施。品目は野菜。公的支援を受給。
 相談のきっかけ 相談会。
 参入に繋がった理由 技術指導をしてくれるベテランの親方農家がいたこと。行政やJAの支援があったこと（技術、資金など）。同じ組織内に先輩の有機農業の就農者がいて、相談できたこと。産地として、出荷先が確保できていること。
 参入後の状況 研修時と同じ組織に所属しており、継続して支援している。

新規就農事例 19

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
中国	男	35歳	有	1人	不明	50万円	稲作、野菜作	51a	51a

研修内容など 野菜専業農家で研修。品目は主に葉物野菜（コマツナ、ホウレンソウなど）。公的支援を受給。
 相談のきっかけ 不明
 参入に繋がった理由 体調の面から有機農業を志望。就農1年目は半農半Xで就農されたが、2年目の平成30年春に専業農家へ転換。有機農業の講座を受講し専業に気持ちが傾いたと思われる。
 参入後の状況 出荷グループの役員（農地など）。役場職員（補助事業）。

新規就農事例 20

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
四国	男	37歳	有	1人	パート・アルバイト	300万円	野菜作、果樹	5.5a	5.5a

研修内容など 有機野菜生産農業者にて研修。品目は、旬野菜、柑橘。栽培技術、農産物加工品の作り方、農家民宿の運営などについて、1年間研修。

相談のきっかけ 公共機関へ問い合わせ。

参入に繋がった理由 将来、農家民宿経営を計画している。

参入後の状況 他の有機農業者と交流を持ちながら、有機農業を営んでいる。

新規就農事例 21

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
九州	男	不明	無	1人	不明	不明	野菜作	42a	不明

研修内容など 就農支援資金計画作成の支援。

相談のきっかけ 個人相談。

参入に繋がった理由 農地の確保。

参入後の状況 資金計画支援。

新規就農事例 22

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
九州	男	37歳	有	1人	会社員	不明	果樹	120a	120a

研修内容など 別団体の慣行農家(温州みかん等)の研修後、当会の有機農家(ばんかん、甘夏みかん)で研修。

相談のきっかけ 新・農業人フェア。

参入に繋がった理由 相談会后、見学。その後、経営面の心配から、別団体の慣行農業研修をしたが、体にも合わず、有機農業研修の相談が改めてあった。収穫可能な農地の確保ができ、就農へ。

参入後の状況 助成金の活用のお考え方、市町村等との付き合いのアドバイス

新規就農事例 23

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
九州	男	42歳	有	1人	会社員	300万円	野菜作	50a	50a

研修内容など 当法人研修施設。

相談のきっかけ 新・農業人フェア(東京)。

参入に繋がった理由 東京での新・農業人フェアで出会い、Uターンを希望。当法人直営農場で研修。

参入後の状況 当法人の出荷団体に加入。

農業法人への就職事例 1

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
中国	男	26歳	無	無	会社員	不明	野菜作	150a	100a

研修内容など 農林大学校にて研修。

相談のきっかけ 親元就農。

参入に繋がった理由 地元へ帰省。
 参入後の状況 栽培指導を実施（病気・雑草対策）。作付指導を実施。

転換参入事例 1

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
関東	男	35歳	有	無	農業従事者	不明	畑作、野菜作	100a	100a

研修内容など 他県内の有機農業研修先で研修後に、平成 29 年から JA 露地野菜部会に加入し普通栽培での経営を開始。品目は露地野菜等。

相談のきっかけ 農業振興事務所で実施している有機農業ほ場研修会への参加。

参入に繋がった理由 地域内の有機農業ほ場研修会等の機会に、栽培技術についての意見交換や有機農業者との交流を通じて地域に速やかに溶け込むことができたため。

参入後の状況 定期的開催予定の有機農業技術交換会を通じて、現状を確認し、農業振興事務所および市が今後も支援を継続していく。

転換参入事例 2

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
近畿	男	80歳	有	無	農業従事者	不明	畑作	235a	20a

研修内容など なし。

相談のきっかけ 周りの有機農業者とのつながりから有機栽培を始めたいという意向があったため。

参入に繋がった理由 不明

参入後の状況 不明

転換参入事例 3

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
中国	男	不明	不明	不明	農業従事者	不明	不明	111.1a	51.1a

研修内容など 有機 JAS 認証制度について、県主催の有機農産物等生産行程管理者等講習会に参加。

相談のきっかけ 有機 JAS 認証取得を希望。

参入に繋がった理由 以前より特別栽培に取り組んでおり、使用禁止資材を使用せずほぼ有機的な管理がなされていたこと。ほ場周辺の慣行ほ場においても無防除が多く、使用禁止資材の飛散リスクも極めて低かったこと。

参入後の状況 不明

転換参入事例 4

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
九州	男	60歳	有	不明	農業従事者	不明	畜産、畑作	46.6a	46.6a

研修内容など 独学。
 相談のきっかけ 相談会を含むイベントの問い合わせ。
 参入に繋がった理由 すでに技術は持っており、第3者による認証を得るため。
 参入後の状況 特に鶏卵に対しての流通先を紹介した。

転換参入事例 5

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
九州	男	35歳	無	無	農業従事者	不明	野菜作	50a	20a

研修内容など 新規参入時（慣行農業）に公的支援あり。
 相談のきっかけ セミナー。
 参入に繋がった理由 研修先。
 参入後の状況 なし。